

外国人材の受入れに関する円卓会議公開シンポジウム

パネル・ディスカッション

「日本が『選ばれる国』になるために—新たなビジョンと戦略」

国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）会長
株式会社ゼンショーホールディングス代表取締役会長兼社長
小川 賢太郎

2022年2月14日（月）

国民生活産業・消費者団体連合会



略 称 : 生団連

設 立 : 2011年12月

会員数 : 571 企業・団体 (2021年12月時点)

特 長 : 「国民の生活・生命を守る」という使命のもと、**企業、消費者団体、NPO等**が結束し、国民的課題に取り組む日本で初の「国民団体」

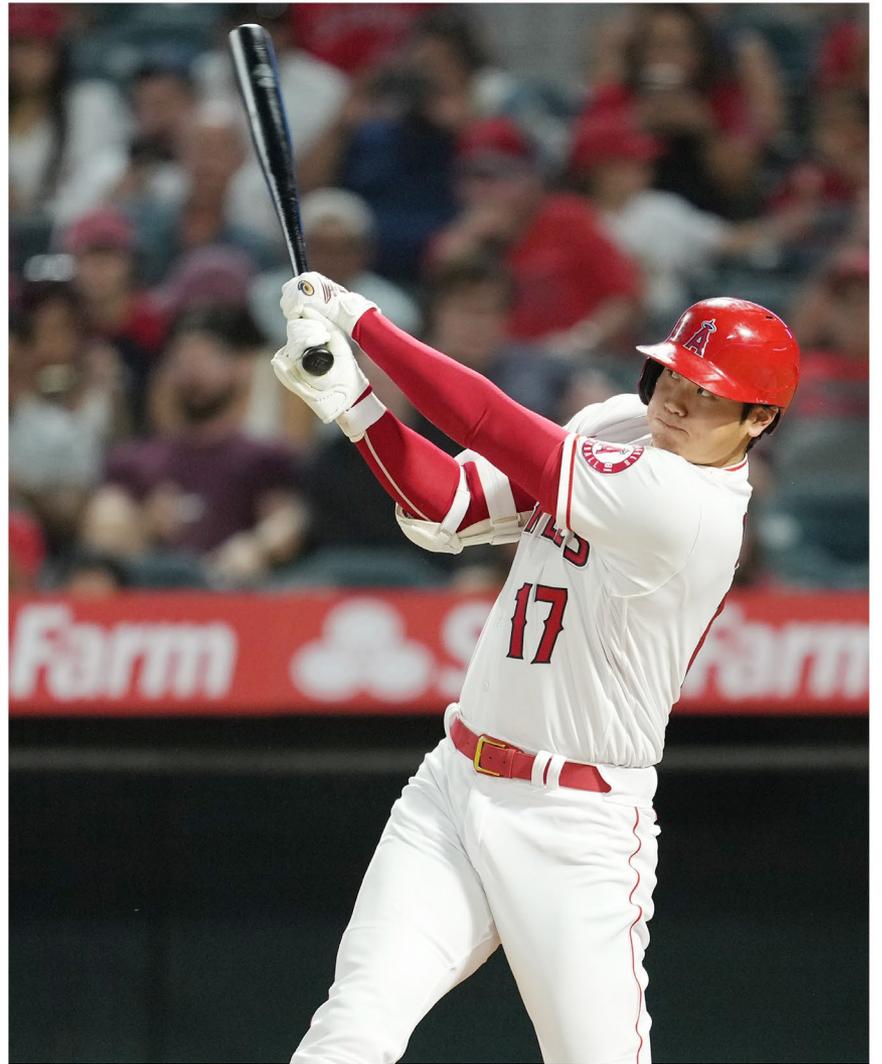


2017年にライフコーポレーション清水会長
のご推挙で生団連会長に就任

＜生団連の組織＞



「選ばれる」ということ



出典：日刊スポーツ新聞社
nikkansports.com

海外プロスポーツ選手の待遇

2021年 メジャーリーグ選手年俸 TOP10

| | 名前 | 出身・ルーツ | 年俸 (推計) |
|----|----------------|--------------------|------------|
| 1 | マイク・トラウト | アメリカ | 39億円 |
| 2 | ジェイコブ・デグロム | アメリカ | 37.8億円 |
| 2 | ゲリット・コール | アメリカ (イタリア) | 37.8億円 |
| 4 | スティーブン・ストラスバーグ | アメリカ | 36.7億円 |
| 4 | ノーラン・アレナド | アメリカ (キューバ・プエルトリコ) | 36.7億円 |
| 4 | ザック・グリンキー | アメリカ | 36.7億円 |
| 7 | マックス・シャーザー | アメリカ | 36.2億円 |
| 8 | ジャスティン・バーランダー | アメリカ | 34.6億円 |
| 9 | マニー・マチャド | アメリカ (ドミニカ) | 33.6億円 |
| 10 | デビッド・プライス | アメリカ | 33.6億円 |
| ↳ | | | |
| | 大谷 翔平 | 日本 | 3.1億円 |

2021年 プレミアリーグ選手年俸 TOP10

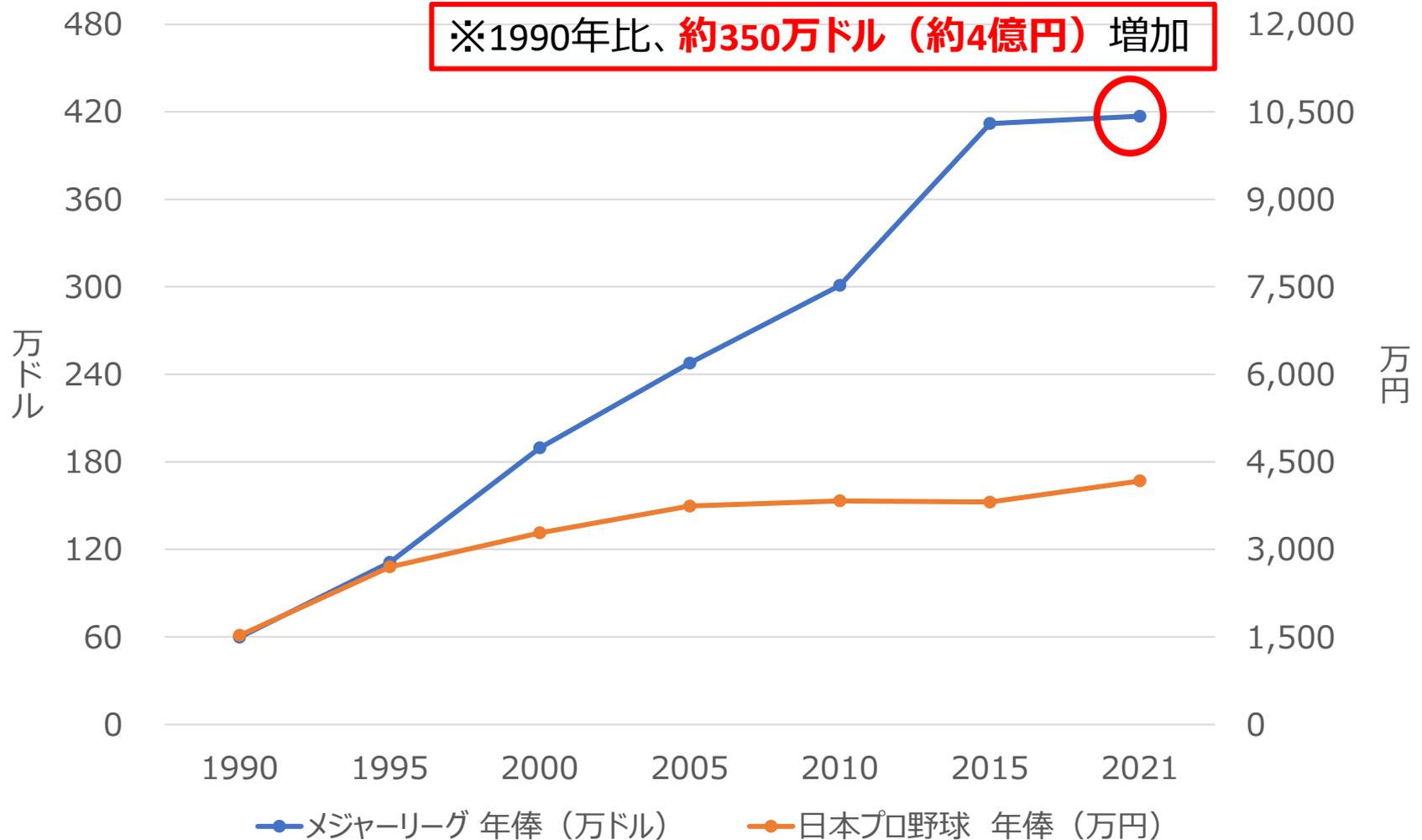
| | 名前 | 出身・ルーツ | 年俸 (推計) |
|---|---------------|----------|------------|
| 1 | クリスティアーノ・ロナウド | ポルトガル | 40.2億円 |
| 2 | ケビン・デ・ブライネ | ベルギー | 31.5億円 |
| 3 | ダビド・デ・ヘア | スペイン | 29.6億円 |
| 4 | ジェイドン・サンチョ | イギリス | 27.6億円 |
| 5 | ラファエル・バラン | フランス | 28.6億円 |
| 6 | ロメル・ルカク | ベルギー・コンゴ | 25.6億円 |
| 7 | ジャック・グリーリッシュ | イギリス | 23.6億円 |
| 7 | ラヒーム・スターリング | ジャマイカ | 23.6億円 |
| 9 | ポール・ポグバ | フランス・ギニア | 22.8億円 |
| 9 | エングロ・カンテ | フランス・マリ | 22.8億円 |

メジャーリーグとマイナーリーグの待遇

| | メジャーリーグ | マイナーリーグ |
|------|----------------------|--|
| 給料 | 年俸平均： 4,170,000ドル | 上位リーグ： 2,800ドル ルーキーリーグ：1,600ドル (※月額最低保証 シーズン外は無給) |
| 年金 | 1日でも在籍すれば支給 | なし |
| 移動手段 | 飛行機 | バス |

※メジャーリーグ選手の出身は殆どがアメリカであったが、両親等に海外ルーツの確認できたものを併記している。

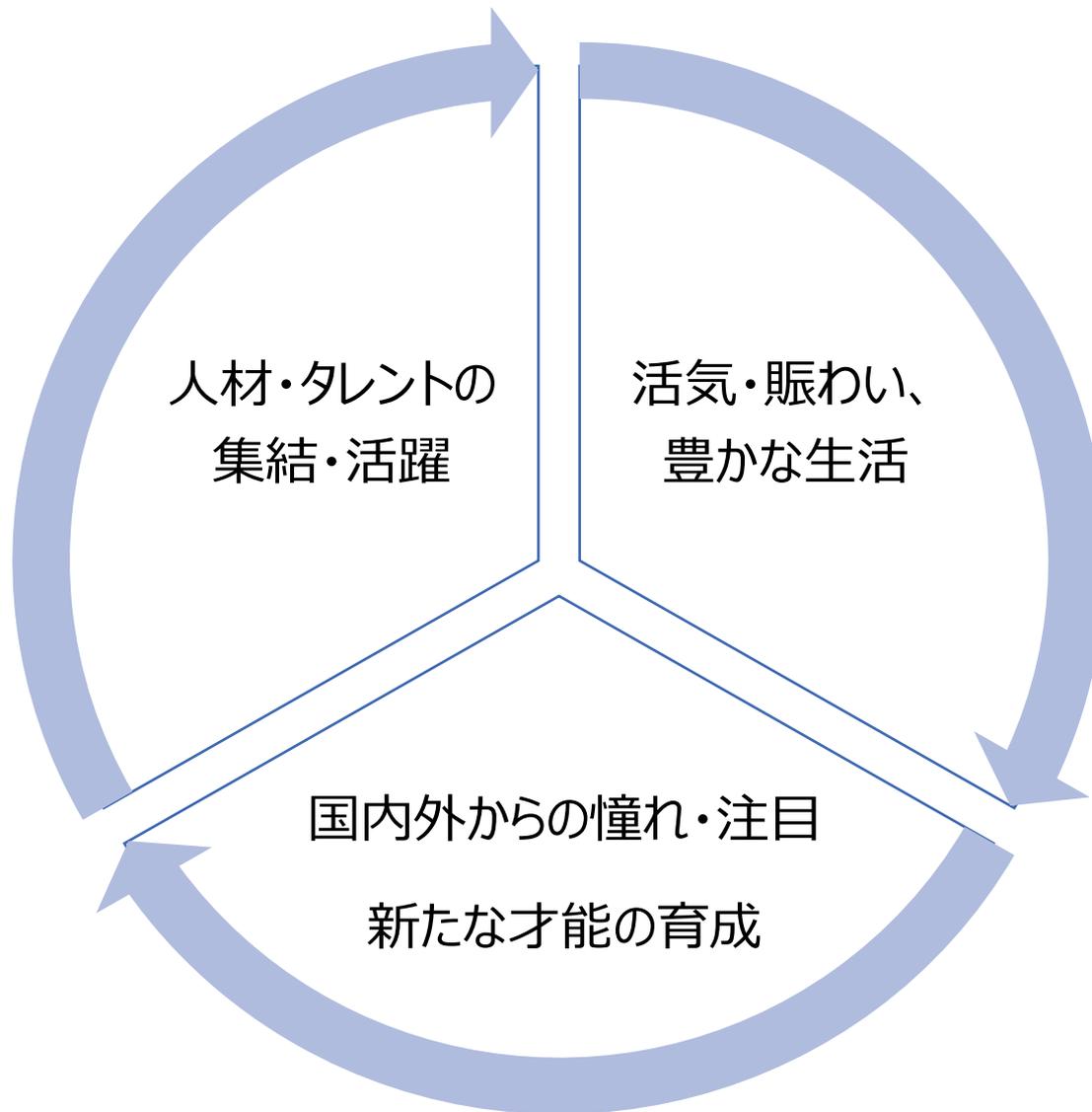
メジャーリーグと日本プロ野球 年俸平均



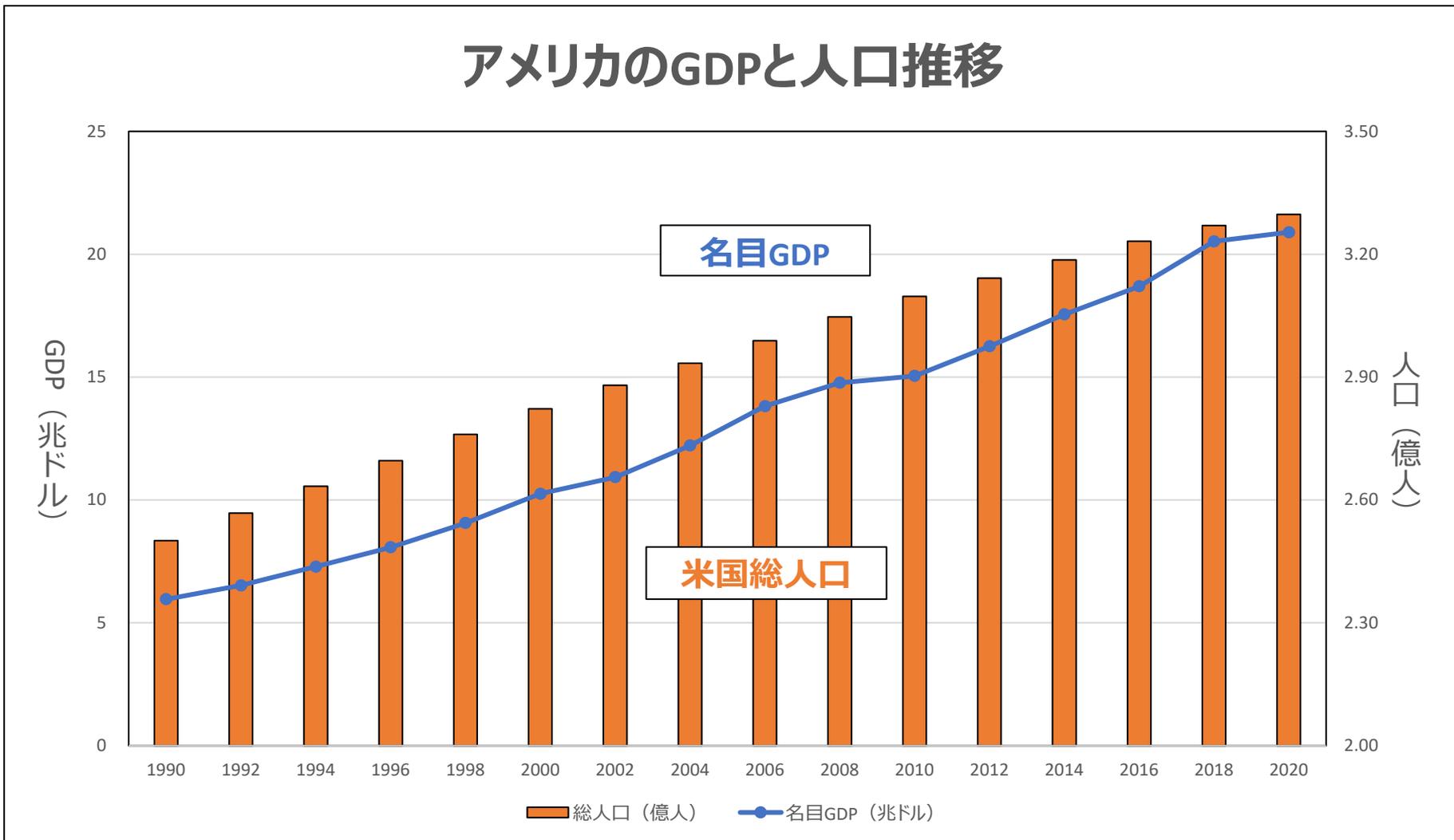
選ばれ続けることが織りなす、人材・成長の好循環



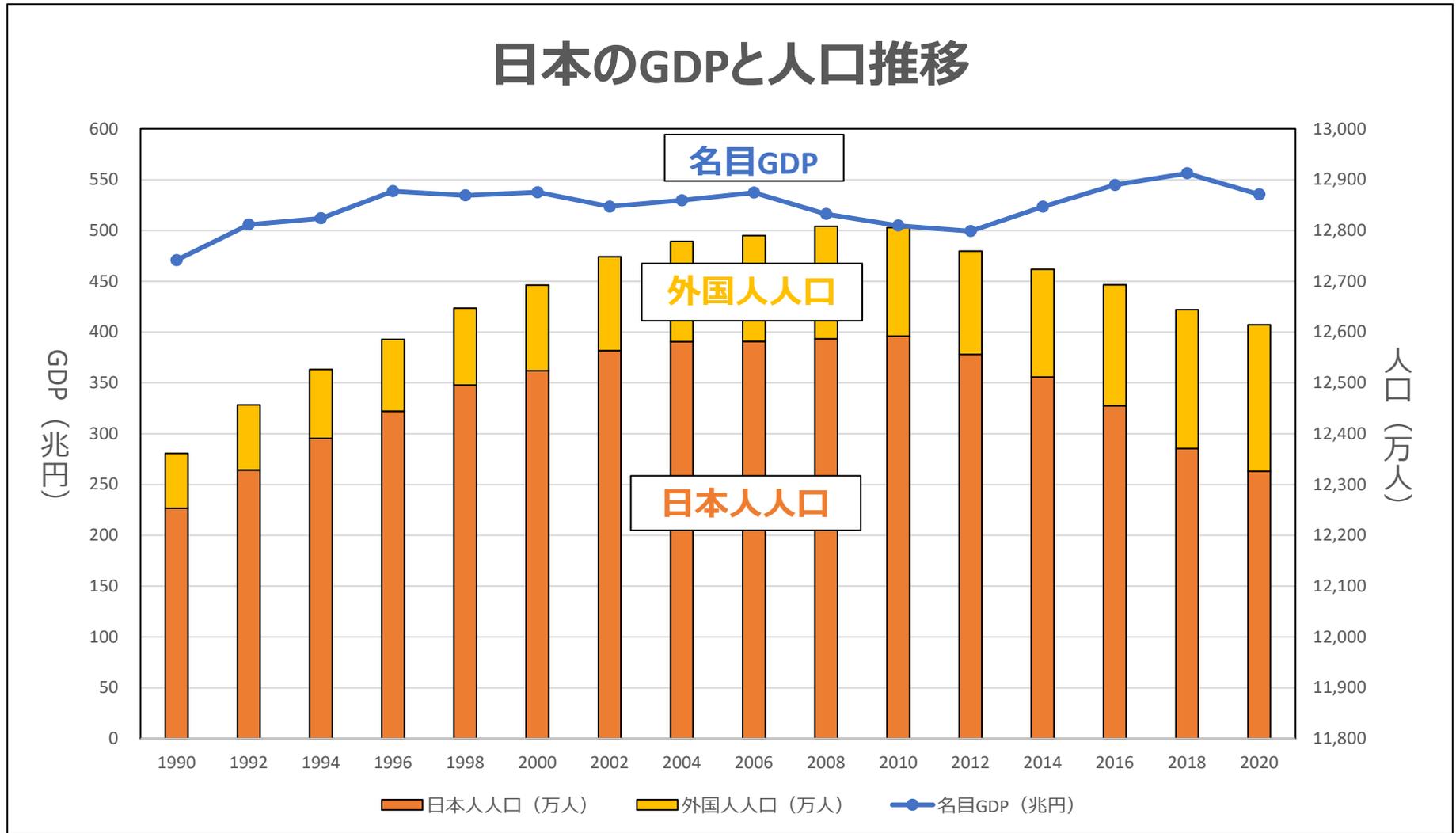
出典：日刊スポーツ新聞社
nikkansports.com



アメリカのGDPと人口推移



※出典：IMF統計より、生団連事務局にて編集



※出典：GDPは内閣府、人口は総務省及び出入国在留管理庁データより生団連事務局にて編集

【生団連としての課題認識・提言】

- 2018年11月

「人的鎖国からの脱却」外国人の受入れ体制の構築に関する提言

「人口減少がもたらす重大な問題（労働力・消費者・税及び社会保障の担い手の減少）を根本的に解決するには、労働力不足への対応だけではなく、「生活者としての外国人」の受入れを進めなくてはならない。」

⇒ **受入れのための制度設計（出入国管理）**

生活者としての環境整備（在留管理） についての進展を国に要望。

- 2020年12月

生団連「外国人の受入れに関する基本指針」

「外国人を単に労働者ではなく生活者として受入れ、人権尊重の理念のもと、共生社会の構築を進めていかななくてはならない。」

⇒外国人を受入れるにあたり、**一人ひとりに求められる心構え**を明文化。

世界の人材から選ばれる国へと改革し、 才能を発揮し、活躍できる日本を作り上げるには

- プロスポーツの世界のみならず、アメリカなど成長し続ける国は、国内外からの評価されて選ばれ、さらなる活力を生み出し発展している。
- 日本が停滞から脱却し発展していくためには、国内の人材を育成するとともに、国外からも有望な人材が集めることが必要。
- 人材が成長し活躍できる場として、受入れ制度と生活環境の両面で整備し、**世界の模範となる日本**となり、国内外へ示していかななくてはならない。

SEIDANREN
生 団 連

The logo consists of the Japanese characters '生' (sei), '団' (dan), and '連' (ren) in a bold, black, stylized font. The character '生' has a red dot above its top-left stroke. The character '団' has a red dot in the center of its square component. The character '連' has a red dot above its top-right stroke. Above the characters, the word 'SEIDANREN' is written in a simple, black, sans-serif font.